

ASK ニュース

Vol.0139

2015年1月5日(月)

担当：MS事業部 山田

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

本の読み方

はじめに

新年を迎えて、今年こそはたくさん本を読もう、
と思っている方も多いことと思います。そこで今
回はおすすめの本の読み方を紹介します。

本の分類

本には大きく分けて3種類の効果があると言わ
れています。

- ①勉強のための本
- ②知的好奇心を満たすための本
- ③娯楽、リラックスのための本

ここでは①の勉強のための本の読み方について
紹介いたします。

その読み方で身に付きますか？

なにか新しく知りたいことを学ぼうとする時
や今後進みたい方面の勉強をしていかなければ
ならない時、大抵の場合が一冊のマニュアル本を
読むか参考書を使って勉強しようとするなど、何
か堅苦しいもので学ぼうとしがちです。しかし、
これはノーセンスです。これは学校の勉強方法な
のです。きちんとまとめてあって「なるほど」と
なり易いですが、実際の行動にはまるで使い物に
ならず、本質というものが理解しにくいです。

具体的な読み方

最初に、超初心者でも分かる学びたい分野の全
体像を集めた本を複数冊読むことです。これはそ
の分野の本当に基礎的な部分を専門用語無しで
書いてくれているのです。頭に入ります。複

数冊読むのは、大事なところであったり、その分
野で共通認識となっている事柄を押さえるため
です。

その分野の大体のイメージがつかめたら、少し
ずつ詳しい本を読んでいきます。これは、その分
野の知識について掘り下げていく読み方です。

普通はこれで終わる場合が多いのですが、さら
におすすめの読み方として、その分野の小説を2
~3冊読むことです。基礎知識もあるから何と
なくでも理解はし易いでしょう。しかも、知
っている単語ばかりになっているので、勉強
のはかどり方が全然違ってきますし、何より
小説ですから読むのが楽しいですね。

実は、違う視点から勉強しているので頭への
残り方は全然違います。小説で疑似体験も
していますから、その知識を生かすのも容
易になっています。

終わりに

読書は人生を豊かにしてくれるものです。本
をよく読んでいる人とお話しすると、知識
や思慮の深さを感じるものです。

少なくとも自分の興味のある分野や仕事
に関わる分野の本は上手な読み方をして、
何冊も読み進めていきたいですね。

